

NO.	事業名	評価結果													
		事業の概要					令和3年度の事業計画					実施結果			
1	おいらせ町移住者採用企業支援補助金	<p>・移住希望者に向けて求人条件のほか、仕事内容や働く環境、理念等の企業活動をイメージできる情報発信を行う企業の採用活動を支援することにより、町への移住者の増加を図ることを目的に実施している事業である。</p> <p>・移住者の採用を希望している企業が広く求人情報等を周知するために、就職支援サイトへの掲載に係る費用の一部を助成している。</p>					<p>【事業内容】町内企業が就職支援サイトへ求人情報を掲載するにあたり、その経費の3/4を町が助成する。</p> <p>【1社あたりの助成額】 対象経費40万円×補助率3/4＝上限30万円</p>					<p>・本事業を活用し、求人情報を掲載した企業は2社。</p> <p>・サイトを利用した町内への転職者・移住者は0人であった。しかし、働く環境、企業理念、従業員インタビュー等、従来の求人情報だけでは伝えきれなかった企業の雰囲気や移住希望者へ発信できた。</p>			
		有効性							将来性						
		A部員	B部員	C部員	D部員	E部員	部員平均	町担当者	A部員	B部員	C部員	D部員	E部員	部員平均	町担当者
		2	2	2	2	2	2.0	2	2	3	2	2	3	2.4	2
<p>判定理由、良い点、悪い点(課題)、改善提案など</p> <p>(A) ・町内企業がどの位の求人を必要としているのか調査する必要がある。また、どんな業種・職種で多くの求人が出ているのかを知らないと、効果は限定的だと思います。そもそも、町内企業に助成するよりも、新たな町外企業をおいらせ町に誘致にするような助成の方が効果を期待できるのではないのでしょうか？</p> <p>(B) ・移住の中で雇用は大きな要素を占めるが、企業の求人掲載サイトにたどりつくのにもっと有効なアプローチが必要だと感じる。SNSの有料広告を利用し、予算額の中からも投下したほうが閲覧数も伸びると感じた。</p> <p>(C) ・移住者支援として持ち家にこだわらない新たな見方で、よりおいらせ町に住みたいと思うような支援を検討することが必要。個人的な見解としては、特に手をかけなくても自動的に移住者は増えると思うので、もっと町の魅力をアップさせる施設やイベントに予算を移行させるのはどうか。魅力を増やすことでさらに移住者の見込みが増えると思われます。</p> <p>(D) ・掲載サイトに対する費用対効果(ビュー数も低い)が低すぎると思います。1サイトではなく、複数のサイトへの掲載や、同じ金額で、SNS広告や自社サイトでの求人ページ制作の方が効果があるように思います。そもそもこの事業を採用できる企業がおいらせ町には少ないので、事業者支援の方が先だと感じます。</p> <p>(E) ・事業の趣旨は総合戦略に相応しいものと考えられる。 ・ウェブサイトへの企業情報掲載は、単に求人にと留まらず、当該企業のアイデンティティを内外に明確化しアピールする効果が大きいと思われる。 ・業種や職種によって情報を掲載するサイトや、発信方法についてさらに試行錯誤を重ねると、効果がでてくるのではないかと。</p>															

NO.	事業名	評価結果													
		事業の概要					令和3年度の事業計画					実施結果			
2	甲洋・下田小学校区 子育て世代定住助成金	<p>・人口減少が著しい地区に住宅を取得する子育て世代の移住者に対し、当該助成金を交付することで人口減少及び少子高齢化を抑制し、もって地域の活力の維持向上を図ることを目的に実施している事業である。</p> <p>・現在は、甲洋小学校と下田小学校区に住宅を取得または親等と同居するための増改築をして移住する者に助成金を交付している。</p>					<p>【事業内容】令和3年度は、事業の初年度であることから事業の周知活動を中心に行った。周知活動は町ホームページ、イオンモール下田内デジタルサイネージやおいぐらなどのインターネット媒体で実施した。</p> <p>【1人あたりの助成額】 新築:上限100万円 中古:上限60万円 増改築:上限20万円</p>					<p>申請件数8件 助成金額900万円 【内訳】 下田小学校区…件数7件 転入者20人(うち子8人) 甲洋小学校区…件数1件 転入者4人(うち子2人)</p>			
		有効性							将来性						
		A部員	B部員	C部員	D部員	E部員	部員平均	町担当者	A部員	B部員	C部員	D部員	E部員	部員平均	町担当者
		2	2	2	1	3	2.0	3	2	3	2	1	2	2.0	3
		判定理由、良い点、悪い点(課題)、改善提案など													
<p>(A) ・子育て世代は、助成金が出るからと言って、限定した地区に定住する事を決めるのか疑問である。私は、一時の助成金よりも、利便性を優先すると思われます。 ・部会でも意見が出ていたとおり、甲洋・下田小学校区の将来をどうするかを明確にすることが重要と考えます。その上で、地域住民の不便を解消する対策を実行すべきと考えます。(学校存続が事業の目的ではないのでは?)</p> <p>(B) 当該地区は土地の価格も他地区に比べて安価であれば、アピールポイントだと思う。しかし、助成金利用者の半分かきかけが助成金ではないことを聞き、違う方向性を模索した方がいいと感じた。</p> <p>(C) スモールタウン化の10か年計画などが未来に始まるとすれば、現住居者を中心部へ移住するための手当てなど?に使用する。または甲洋・下田地区の小学校がなくなった場合、子供たちのスクールバス等のアクセス対応などに予算活用などをし、少しずつおいらせ町の形状を”住む町”と”魅せる場所”と区分けしていけたらより良いと思う。岩手県にある子供の森のような施設が甲洋地区にあればいいと思う。</p> <p>(D) ・利便性が悪く、災害危険性も高い場所に人を集めようとする必要が果たしてあるだろうか、とても疑問です。費用対効果を上げるためにも人口が増えている地域や、利便性の高い(行政的にも)地域への施策を進めた方が町としての効果が期待できると思います。</p> <p>(E) ・おいらせ町の都市計画的ビジョン(立地適正化等)からみて、この方向で良いのかどうか、事業の見直しが必要ではないか。 ・当該地域への移住に際してこの助成を利用する例はあっても、この助成が移住の誘因になっているのかは疑問である。</p>															

NO.	事業名	令和2年度の評価結果		
事業名		主な意見	検討状況	
3	昨年度の検証事業について	自由の女神リブランディング事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自由の女神像の外装をきれいにされたことは素敵です。Youtube用観光PR動画とHPの画像は連動されると共感が増えると思う。女神像の知名度UPと町を盛り上げる発信を継続してほしい。 ・現状のままでは残念ながら将来性が見えないように思います。環境やモノに頼るではなく、せっかくの自由の女神像を媒介として、今後のおいらせ町らしい物語づくりや交流づくり(市民活動ベース)の展開を促せば新たなブランディングにつながる地域資源ではあると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外装塗装工事等は終了。 ・自由の女神像についてもコロナ禍だったこともあり、塗装後に観光客が増加したかは判断しがたいが、フォトコンテストや観光動画を作成したことによる町のPRに効果があったと考えている。いただいたご意見を参考に町のシンボルとしても自由の女神像の活用を検討中である。
	百石高校魅力アップ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金額が少ないと感じる。人数減らして金額を1万円にするか、予算配分を見直すなど、活用してもらえるような内容にした方がよい。入学後に高校生たちがおいらせ町の魅力を発見できるような事業も必要。 ・まず、KPIの数値がR3年度に減った要因の検証がなされたのか。次に百石高校の魅力を上げることが大切だが、町内中学校に進学先として魅力ある高校だというアピールも必要だと感じる。 ・側面からの支援に限定される。あくまでも学校主体だが、百石高校の独自性をどう作るのがポイントだと思う。学習塾支援が2人のみというのは悲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は継続中。 ・学習塾助成の増額は見送ったものの学校と協議し、「模擬試験助成」を新規で実施。高等教育機関への進学に向けた支援を拡充した。(1回1,000円 1人6回まで) ・R3年度の入学志望者の減少は、同年度に三本木農業恵拓高校が開校した影響であると分析しているが、地域全体の中学校卒業生数が減少していることから志望者数が定員に満たない状況が続いている。少ない生徒数でも魅力ある高校に向けて事業を実施していきたい。 	
	判定理由、良い点、悪い点(課題)、改善提案など			
<p>【自由の女神リブランディング事業】</p> <p>(A) 自由の女神の外装工事は、像の延命策・維持策として、個人的には必要と思いますが、やはり女神像の存在意義、活用方法を早く決めないと今回の投資も無駄になるのではないかと思います。</p> <p>(B) 今後物販店や飲食店の整備があれば利用客が増えると思う。</p> <p>(D) 自由の女神を有効的に使いたいのであれば、いちょう公園の整備や周辺の事業者誘致や優遇などをして人が集まる仕組みも考えた方がよいと思います。オブジェクトはただあるだけでは人は集まりません。それを有効的に使う事で有用性が出ると思います。</p> <p>(E) おいらせ町のユニークな資源であることには変わらないので、うまく連携させたストーリー性のある活用をしていただきたい。</p> <p>【百石高校魅力アップ事業】</p> <p>(A) 県立高校である百石高校の魅力度アップ事業の目的は？今後、生徒数の減少に歯止めを掛けるには、よほど特別な対策や多額の助成が必要と感じました。</p> <p>(B) 普通高校としての特色を出すのには難しいため、食物調理科にスポットを当てて優位性を伸ばす方がよいと感じる。</p> <p>(C) 親の立場として食物調理化だけに頼る百石高校の付加価値が低い。八戸西高校のスポーツ科やこれからの時代に合わせたEスポーツ・ロボコンや、将棋の町おいらせのイメージでアナログな将棋ではなくハイテクな将棋ゲームを開発して売るなど、Z世代に響く職業に先が見える課を設立するのはどうでしょうか？子どもを入学させるなら、システムやネットに対応できる人材になれる何かに特化した学校に興味があります。</p> <p>(D) やはり学習塾助成が魅力につながると思いきい(金額的にも)。おいらせ町の文化や伝統・人などを絡めて行う事業が良いのではないのでしょうか。</p> <p>(E) 学校と協働して、ぜひ元気な若者の拠点として持続的であってほしいと願います。</p>				

全体について(自由記載)

(A)

・いまさらですが、住民人口減少に歯止めをかけるには、もっと現状分析を行う必要があると思います。その上で、具体的な対策の立案と実施を急ぐ必要があると思います。木ノ下小学校区の住民が増えているのであれば、そこに住む住民は、生活する上で、どんなサービスが不足しているかを知らなければならぬし、その他の地区の住民を増やしたいのであれば、その地区にどんなサービスが必要か、何が足りないのか、そのためには何をしなければならぬかが重要だと思います。その対策にどう公金を配分するかが行政の役目であると感じました。また、行政だけで出来ないことは民間にも協力を依頼すべきだと思います。

(D)

移住は、他市町村との取り合いになるだけで根本的な解決になりません。おいらせ町出身者の帰住(Uターン)に力を入れてはどうでしょうか。また、全体的に言えますが、移住者やおいらせ町に興味を持っている人が情報収集して情報を見つけるという内向きの発信が多く、外向きの発信がほとんどない。まず、おいらせ町がどのような街か、どのような良いところ・もの・人がいるのかを発信しないと、そもそも候補にも挙がりません。存在を知らないのですから。そういった観点でも、移住に力を入れるか、帰住(Uターン)に力を入れるか街として考え施策をすすめていくべきではないでしょうか。

○「有効性」と「将来性」の判定基準について

「有効性」…目指す姿・目的・KPIの達成に対する有効性について次の「5～1」から一つ選んで判定

- (5)⇒指標の数値が倍増するなど非常に大きな効果があった
- (4)⇒概ね目標を達成し、効果があった
- (3)⇒一部目標を達成できておらず十分な効果が得られていない
- (2)⇒多くの目標を達成できず効果が低い
- (1)⇒未実施の取り組みもあり効果がない

「将来性」…事業の成果や有効性より今後の事業展開などの将来性について次の「5～1」から一つ選んで判定

- (5)⇒大きな効果があったことから、さらに発展させるべき(事業拡大)
- (4)⇒効果があったので、今後も事業効果が見込まれることから継続するべき(現状継続)
- (3)⇒効果が十分ではないので、改善に取り組みながら継続するべき(事業改善)
- (2)⇒効果が低いので、廃止又は大幅な改善に取り組むべき(廃止又は事業改善)
- (1)⇒効果がなく、今後も効果が見込めないことから、事業を廃止するべき(廃止)